

12/15【1年生】外務省高校講座

12月15日に、外務省職員の方をお招きして、外務省の仕事のやりがい、語学学習の大切さについて、また高校時代に何をすべきか、などについてご講演頂きました。生徒たちは、初めて聞くお話に興味深々で、質疑応答でも多くの質問が飛び交い、大変盛り上がりしました。



多くの写真や映像を見せて頂きながら、外務省の仕事について学びました！



1年生ならではの素直な質問にも丁寧に答えて下さいました！

<生徒感想文より>

★外務省とは、そもそも何かをよく知らなかったけれど、この講座を受けてその仕事のすごみを感じました。先生の体験されたお話が私たちの日常とかけ離れすぎていて、講座中は息をのんでしまうほど聞き入ってしまいました。これから外国のことを学んでいくにあたって、すごく参考になったし、自分の進路についても考える機会になったのでとても良かったです。★これからは、英語だけに力を入れるのではなく、苦手な教科も勉強していこうと思いました。★アラビア語という新しい言語とアラビア語を学んだことによって体験したことなど、自分がこれまで聞いたことのないお話がたくさん聞くことが出来てとても興味深かったです。★自分の身を過酷な状況に置くことは時に大事で、自分をさらに成長させることができるということを学びました。先生のご経験などを聞いて、自分の中でも変化があったのでとてもいい講座になりました。先生に教わったことをこれからの人生に活かしていきたいと思いました。★文系の人でも、理系の数学的な頭の使い方が大切だと聞いて、苦手な理系科目も頑張らないといけないと、改めて思いました。将来の夢とかまったく決められていないけど、先生が今は悩むことが大切だとおっしゃっていたので、少し気が楽になりました。★先生のお話で印象に残っているのは、シリアのおばあちゃんとの意思疎通に苦労されたという話でした。この話を聞いて、外国の人との意思疎通も結局は人と人であって、コミュニケーションをとろうとすれば、実現するんだなと思い、とても感動しました。★平和についても語って下さいました。「中東の現状」や先生の体験談などから平和は大事なんだということを今回強く思わされました。「日本は平和」という固定観念に惑わされず、自分も世界平和に少しでも貢献したいです。